支所001	項　目　名	福部町総合支所管理費	新規事業	

予算書項目	庁舎管理費	ページ	25

所　属　名
福部町総合支所 地域振興課

年度	H26

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	財産管理費

（単位:千円）

補正前額	11,236

要求額	147

総務部長段階査定額	147

市長段階査定額	147

区　分		補正額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	147
計		147

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域振興課 0857-75-2811

【９次総の施策体系】0201

【事業の経過及び背景】
　支所の電話交換機設備（H9年製）が、昨年の夏頃から福部町中央公民館の電話も含め、4回線のみの通話しかできなくなる等、不具合が生じている上、バッテリー自体も老朽化している。
　また、当設備は現在、生産中止となっているため交換･修理もできない。
　このため、日常業務のほか大雨等の緊急を要する災害時での対応が危惧される。

【事業の目的及び効果】
　支所の電話交換機設備の更新により、日常業務はもとより緊急を要する地震･大雨等の災害時での的確、且つ迅速な対応を行うことが出来る。

【事業の内容】
　〇支所電話交換機設備保守点検委託料減
　　・△129千円（H26.10～H27.3）
　〇支所電話交換機設備の更新（5年間リースの長期賃貸借契約:保守管理委託料込）
　　・初年度H26　　276千円/6ヶ月（H26.10～H27.3）
　　・H27～H30　　552千円/年
　　・最終年度H31　276千円/6ヶ月（H31.4～H31.9）
　　※6年目以降は、リース契約の終了により支所に設備を無償譲渡。

行財政改革課処理欄

支所002	項　目　名	福部地域活性化拠点施設整備事業費（地域の元気臨時交付金活用事業費）	新規事業	○

予算書項目	新市域特別振興費	ページ	25

年度	H26

所　属　名
福部町総合支所 地域振興課

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

（単位：千円）

補正前額	0

要求額	14,539

総務部長段階査定額	10,257

市長段階査定額	10,257

区　分		補正額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	8,000
	一般財源	2,257
計		10,257

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	8,000
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】市民福祉課 0857-75-2813

【９次総の施策体系】3201

【事業の経過及び背景】
福部町では、生き生きとした地域の創造、青少年の健全な発達、高齢者の社会参加など８つの重点目標を設定してまちづくりを推進している。
こうした中、一昨年４月の幼･保一体化施設「福部すなっこ園」のスタートに伴い遊休化した旧福部幼稚園を地域活性化の拠点施設として有効活用するため、地域審議会等で検討を行い、放課後児童クラブ、障がい者小規模作業所、アイデア館貯蔵庫等の活用方針をまとめた。

【事業の目的及び効果】
旧福部幼稚園を地域の活性化の拠点施設とするため、鳥取県福祉のまちづくり条例に基づいた改修を行うものである。
改修後は、地域の子どもから高齢者、障がい者等が世代を越えて交流することにより人づくり･地域づくりが効果的に行われ福部地域の活性化がより一層促進される。

【事業の内容】
多目的トイレの設置、玄関･ポーチ･駐車場の各スロープ設置等
委託料（設計監理）　1,833千円
工事費　8,424千円

【今後の取り組み】
管理体制等について、施設の利用団体等と協議･調整を行う。

行財政改革課処理欄

支所003	項　目　名	地域おこし協力隊事業費（河原町）	新規事業	○

予算書項目	新市域特別振興費	ページ	25

年度	H26

所　属　名
河原町総合支所 地域振興課

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

（単位：千円）

補正前額	0

要求額	6,001

総務部長段階査定額	5,813

市長段階査定額	5,813

区　分		補正額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	5,813
計		5,813

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域振興課 0858-76-3111

【９次総の施策体系】4204

【事業の経過及び背景】
人口減少や高齢化等の進行がすすみ、地域活動や経済活動が低迷するなか、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていく機運が高まっている。

【事業の目的及び効果】
地域力の維持・強化を図っていくため、都市住民を受け入れ地域おこし協力隊に委嘱する。地域おこし活動や農林漁業の支援など「地域協力活動」に従事して地域活性化に取り組むとともに、隊員の定住・定着を図る。

【事業の内容】
地域振興課に拠点を置き、西郷地区を中心に地域の課題解決・活性化につながる活動に取り組む（２名予定）。併せて隊員の人材育成など一部をＮＰＯに委託して実施する。

＜活動内容＞
・まちづくり協議会活動支援
・特産品開発等、地域団体支援
・道の駅の活性化支援

【今後の取り組み】今後最大３年間の受け入れ

【市民ニーズの状況】
過疎化・高齢化の進む地域や、地域活性化事業を実施している地域
において、都市住民の受け入れや地域への力になってもらうことへのニーズは高い。

行財政改革課処理欄

支所004	項　目　名	河原城開館20周年記念事業費	新規事業	○

予算書項目	観光活動費	ページ	41

年度	H26

所　属　名
河原町総合支所 地域振興課

会計名	
一般会計	
款	商工費
項	商工費
目	観光費

（単位:千円）

補正前額	0

要求額	2,000

総務部長段階査定額	2,000

市長段階査定額	2,000

区　分		補正額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	2,000
	一般財源	0
計		2,000

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	2,000
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域振興課 0858-76-3111
【９次総の施策体系】5201

【事業の経過及び背景】
お城山展望台河原城は、平成２６年に開館２０周年を迎える。これを機会にイベントを実施し、施設の更なる周知を図り、入場者数の増加と地域活性化を図りたい。

【事業の目的及び効果】
入場者数の増加と地域活性化を図るため、郷土の歴史や文化の継承等を中心とした開館２０周年記念イベントを実施する。

【事業の内容】
・戦国時代を振り返る戦国イベント（銃の伝承・地域の当時の歴史等、実演を踏まえた紹介、お城・歴史マニアによる仮装大会等）
・演劇「八上比売伝説（仮称）」（当地は神話「因幡の白兎」の八上姫（やかみひめ）に所以の地であり、神話に纏わる演劇実施）
・年間を通じた地域・施設に纏わる歴史・文化の広報活動（PRグッズ・マップ・パンフレット作成、ホームページ）
・施設の防災訓練を兼ねたギネスに挑戦（バケツリレー消火）
　○事業主体：河原城フェスティバル実行委員会
　○事業期間：本年７月～翌年３月

【今後の取り組み】
この２０周年記念事業を契機に、今後も一層の誘客等地域活性化に寄与する。
【根拠計画】
第９次総合計画、河原地域振興プラン
【市民ニーズの状況】
事業主体は地元商工会、指定管理者、地元住民等で組織する団体であり、昨年より事業計画を立てており、事業への関心が高い。

行財政改革課処理欄

支所005	項　目　名	地域おこし協力隊事業費（気高町）	新規事業	○

予算書項目	新市域特別振興費	ページ	25

年度	H26

所　属　名
気高町総合支所 地域振興課

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

（単位:千円）

補正前額	0

要求額	5,688

総務部長段階査定額	4,806

市長段階査定額	4,806

区　分		補正額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,806
計		4,806

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域振興課 0857-82-0011

【９次総の施策体系】4204

【事業の経過及び背景】
　鳥取市西商工会が中心となり、平成26年2月に鳥取市西地域の地域活性化計画「鳥取市西いなば地域の資源を生かした地域振興グランドデザイン」を策定した。
　このグランドデザインを効果的、かつ効率的に推進するため、地域経済団体関係者や行政関係者等で構成された「鳥取市西いなば地域振興協議会」を設置している。

【事業の目的及び効果】
　グランドデザインの実現に向け、その柱となる「気高道の駅の開設」「まちづくり会社設立」「ジオパークエリア拡大に伴う鳥取市西地域の資源を活用した新たな魅力の創出」による地域活性化の実現を支援するため「地域おこし協力隊」を委嘱し、地域活性化に取り組むとともに併せて隊員の定住・定着を図る。

【事業の内容】
　地域おこし協力隊（２人）配置
　　①道の駅設置及び街づくり会社設立に向けた設立準備など
　　②ジオパーク等地域資源を活用した「イベント」の企画実施など

【市民ニーズの状況】
　鳥取市西商工会から本市に対してグランドデザインの実現に向け、地域おこし協力隊の活用について要望書が提出されている。（H25.11.13付）

【今後の取り組み】
　地域の課題・問題点を踏まえ、より一層地域住民と協働のまちづくりを行う。

行財政改革課処理欄

支所006	項　目　名	地域おこし協力隊事業費（鹿野町）	新規事業	○

予算書項目	新市域特別振興費	ページ	25

年度	H26

所　属　名
鹿野町総合支所 地域振興課

会計名	
一般会計	
款	総務費
項	総務管理費
目	企画費

（単位:千円）

補正前額	0

要求額	2,864

総務部長段階査定額	2,864

市長段階査定額	2,864

区　分		補正額
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	2,864
計		2,864

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
諸収入	0
その他	0

事業の概要

【問合せ先】地域振興課 0857-84-2011
【第９次総の施策体系】4204

【事業の経過及び背景】
　鹿野町では、住民主導によるまちづくり活動が活発で、NPO法人、地域住民及び行政など様々な団体が一体となってまちづくりに取り組んでいる。これまでの取り組みにより鹿野町を訪れる人は徐々に多くなってきているが、より一層人や物の流れを作り、西部地域のグランドデザインの３本柱の一つである「道の駅」開設に向けて鹿野町の魅力を高めていく必要がある。
　また、高齢化率が40%を超える地域が発生しており、老人世帯や独居老人が増える中、生活の支援へのニーズが高まっていることから、老後も鹿野で安心して暮らしていけるよう生活支援の仕組み作りが必要となっている。

【事業の目的及び効果】
　鹿野町の魅力創出と住民の生活支援を推進するため、地域おこし活動に積極的に取組む「地域おこし協力隊」を１名委嘱する。
　これまでの地域資源を活かした取り組みや人材育成のノウハウが豊富である「NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会」から、地域情報の提供や地域資源（ヒト・モノ）の紹介など地域で活動するための支援を受けながら、隊員の鹿野町地域への定住・定着を図る取組みを行う。

【事業の内容】
○鹿野地域の魅力創出
・農産物加工品、工芸品、手作り小物等優れた商品の開拓、ブラッシュアップ
・鹿野ブランド、各地域の逸品等を集めたセレクトショップの開設
・鹿野の魅力を都市部へ情報発信し、移住・交流人口の増加を目指す
○住民の軽度生活援助
　家事・買物代行、家具の移動
　家の掃除・簡単な修繕、庭の除草、植木の簡単な手入れ
　雪かき、墓掃除など

行財政改革課処理欄